

平成 26 年度 研究計画書

Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座・准教授
氏名 Name	加藤昌彦
専門分野 Academic Field	言語学

平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ポー・カレン語及びビルマ語の記述研究				
研究計画 Research Plan	<p>今年度の研究テーマを次の(1)から(3)に列挙する。</p> <p>(1)ポー・カレン語の名詞句構造の研究---ポー・カレン語の名詞句の内部構造について、これまで収集したデータや聞き取り調査に基づき一般化する。(2)ポー・カレン語の自／他動詞の研究---ポー・カレン語において、「殺す」という他動的動作は、「死ぬ」の意の自動詞を使役構文で用いて表す必要がある。ポー・カレン語には対象の変化を表す他動詞が少なく、この例のように使役構文を使わなければ対象の変化を伴う他動的動作を表せないことが多い。本研究では、ポー・カレン語の自動詞と他動詞にどのようなものがあり、それらが体系的にどのように張り合っているかを考察する。(3)ビルマ語の事象キャンセルに関する研究---ビルマ語では、「焼いたが焼けなかった」「跳んだが跳べなかった」と日本語に直訳できるような文が可能である。これは、意志動詞が事象の末端を含意しないという、ビルマ語動詞の特性に拠っている。この現象を意味論および形態統語論の観点から探る。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	言語学	日本語学			
キーワード Keywords	カレン語	ビルマ語	東南アジア諸語	TB 諸言語	